

平成25年度「対話と実行」の取組について

<目的・趣旨>

知事が現場に足を運び、より多くの皆さんとの率直な対話を重ねていくことで、「対話と実行」の姿勢を強化・深化させ、県勢浮揚の次のステップに向けた官民協働の県政を一層推進していくため、「対話と実行座談会」に加え、平成24年度から市町村への訪問事業「対話と実行行脚」を実施している。

その1 ～新たな「対話と実行」の取組～ 「対話と実行行脚」

これまで以上に県内各地の様々な現場に足を運び、地域の方々との対話やふれあいを通じて、高知県の強み、課題への認識を深め、一層の官民協働の県政を目指していく。

<実施方法>

- ・全市町村を訪問(24～26年度の2年半で県内を一巡)
 - H24年度: 12市町村
 - H25年度: 12市町村(予定)
 - H26年度: 10市町村(予定)
- ・市町村ごとに1日をかけて訪問
- ・8ヶ所程度の現場視察や簡単な意見交換会の実施
地域アクションプランの現場や地震対策の現場、「あったかふれあいセンター」、中山間地域の集落などを訪問



<参加者>

訪問市町村の住民の方々

その2 ～座談会をさらに進化させて開催～ 各分野の方々や若者とのテーマ別「対話と実行座談会」

テーマを絞って、様々な対象者での座談会を開催する。

<実施方法>

- ・県が進める各分野の政策の中から、テーマを設定して開催
- ・高知県の将来を担う若者の参加による座談会も開催
- ・年間3回程度開催
- ・事前にテーマを告知し、インターネットやツイッターを利用した意見募集
- ・開催後、インターネット放送局で、座談会の模様を放送
 - 当日の参加者意見とともに、事前に寄せられた意見を紹介して議論を深めていく
 - 開催後には、寄せられた意見や県の考え方をHP等で公表



<参加者>

テーマに関連した分野で活動する方や、関心のある県民の方々

